

2017年度第2四半期 決算説明会資料②

〔2017年度 第2四半期業績〕

—2017年11月6日—

京王電鉄株式会社

I . 2017年度第2四半期の業績



II . 2017年度通期の業績予想



III . 2020年度に向けた取り組みの進捗



I . 2017年度第2四半期の業績

1. 連結損益計算書
2. 連結貸借対照表
3. 連結キャッシュ・フロー計算書
4. セグメント情報

1. 連結損益計算書

(単位：百万円、%)

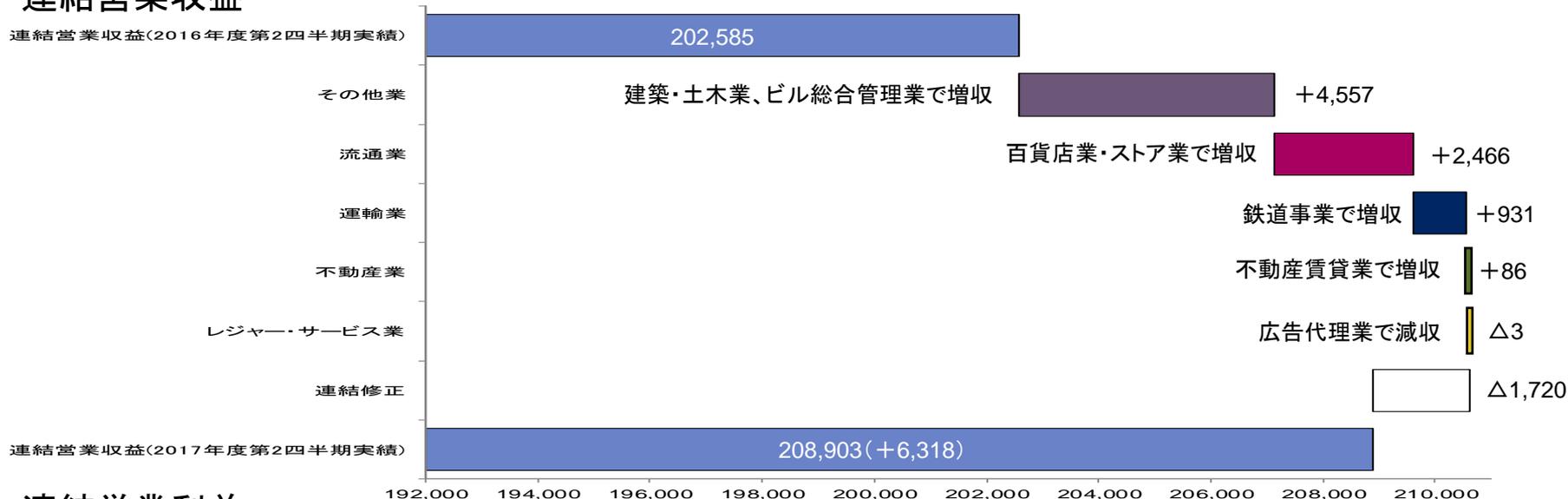
	2016年度 第2四半期 実績	2017年度 第2四半期 実績	増減 (増減率)	2017年度 第2四半期予想 (2017.4.28公表)	差異 (差異率)
連結営業収益	202,585	208,903	6,318 (3.1)	213,000	△ 4,096 (△ 1.9)
連結営業利益	22,420	22,700	280 (1.2)	21,800	900 (4.1)
連結経常利益	21,321	21,785	463 (2.2)	20,500	1,285 (6.3)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	14,492	14,649	156 (1.1)	13,600	1,049 (7.7)
連結EBITDA	39,506	39,588	82 (0.2)		
連結減価償却費	16,884	16,686	△ 198 (△ 1.2)		
資本的支出	21,063	26,004	4,941 (23.5)		

(注) 連結EBITDAは、営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額により算出している。

1-2. 営業収益・営業利益の変動要因（対前期比較）

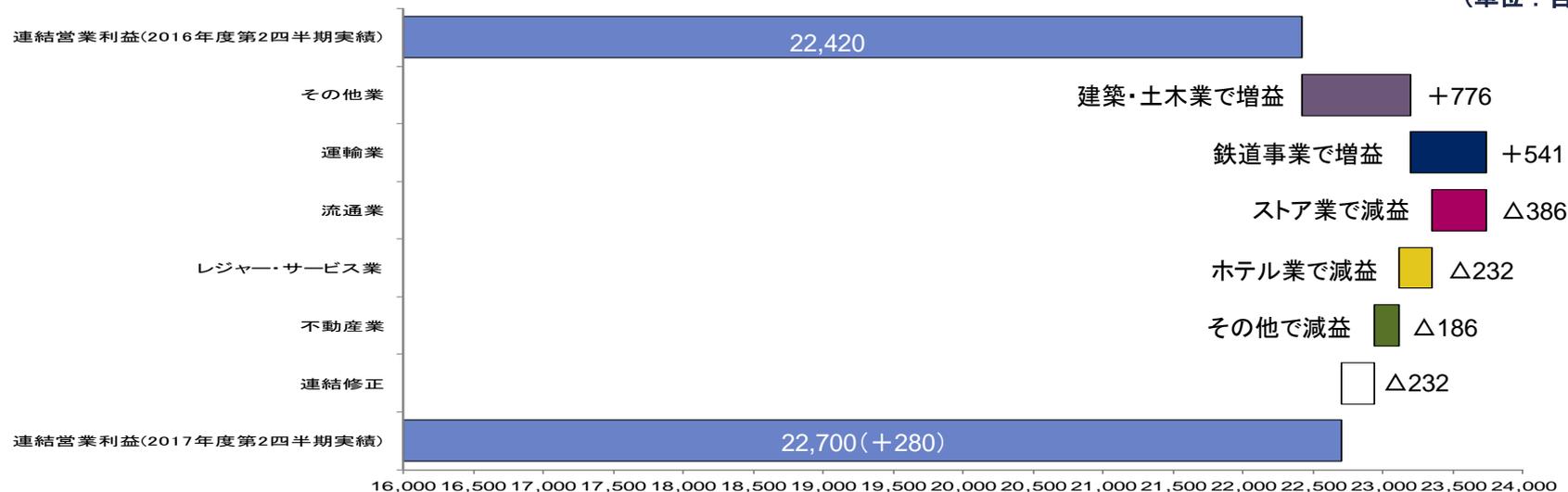
(単位：百万円)

1. 連結営業収益



2. 連結営業利益

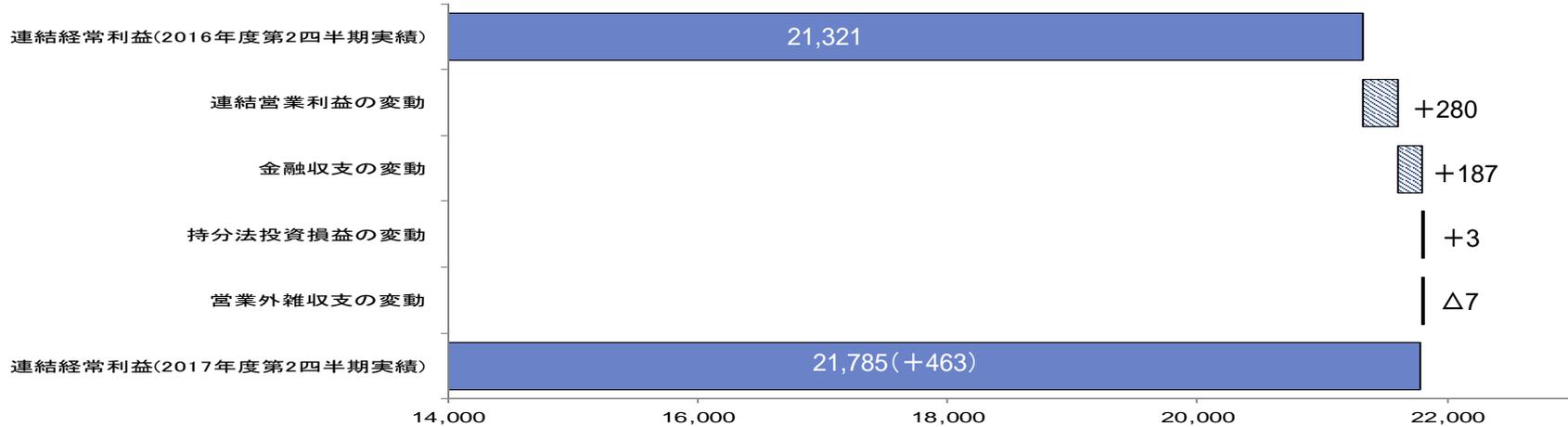
(単位：百万円)



1-3. 経常利益・四半期純利益の変動要因（対前期比較）

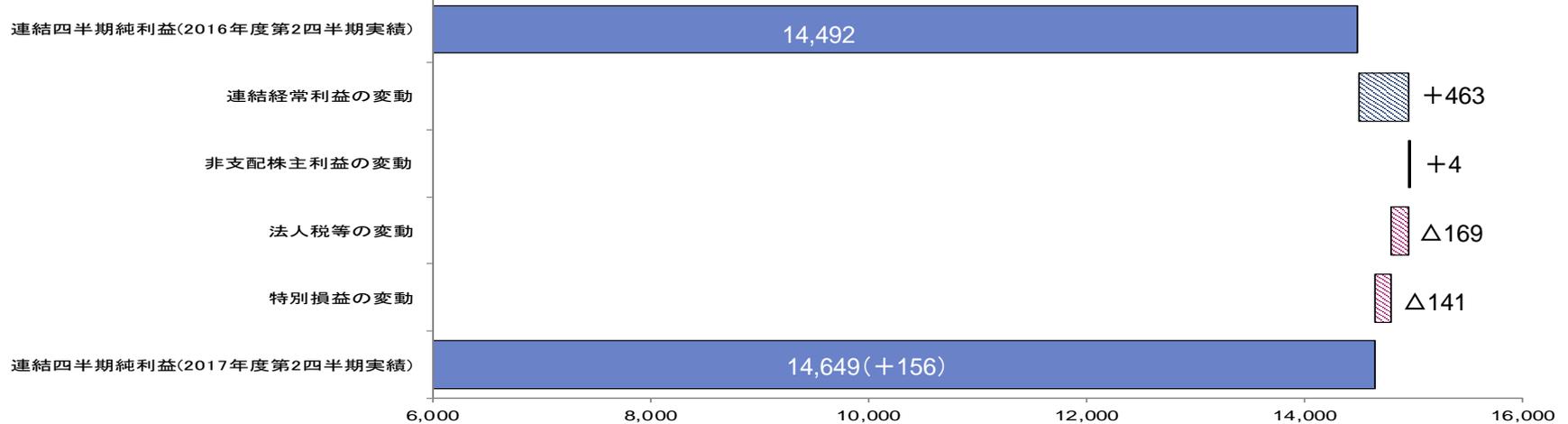
1. 連結経常利益

（単位：百万円）



2. 親会社株主に帰属する四半期純利益

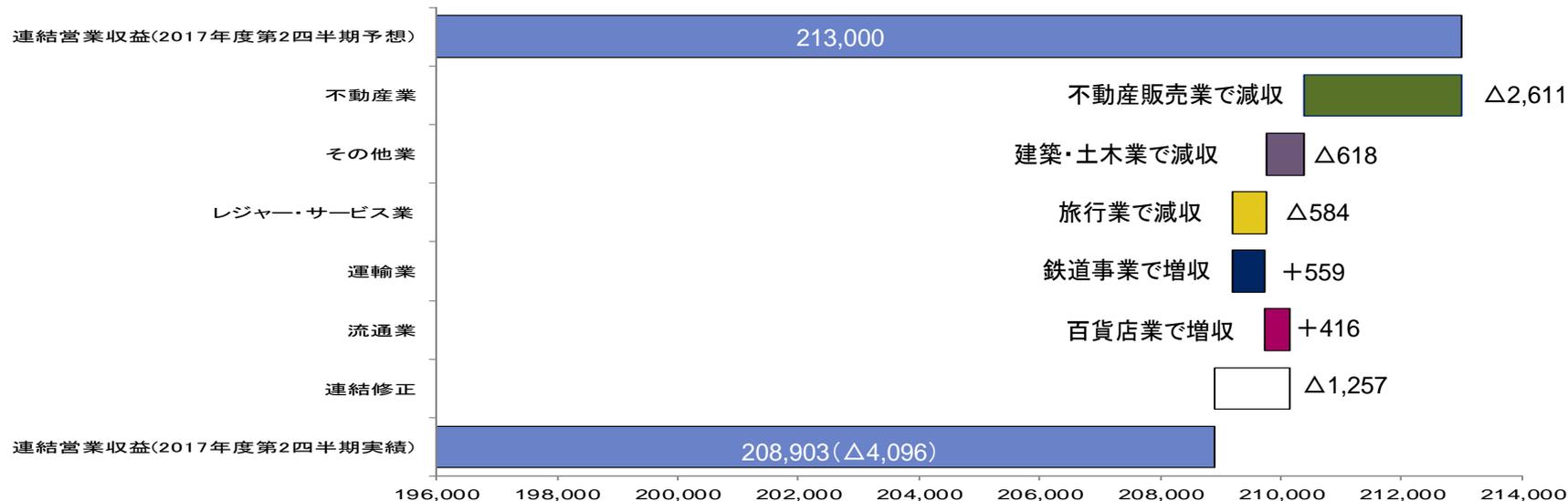
（単位：百万円）



1-4. 営業収益・営業利益の変動要因 (対予想< 4月28日公表ベース>比較)

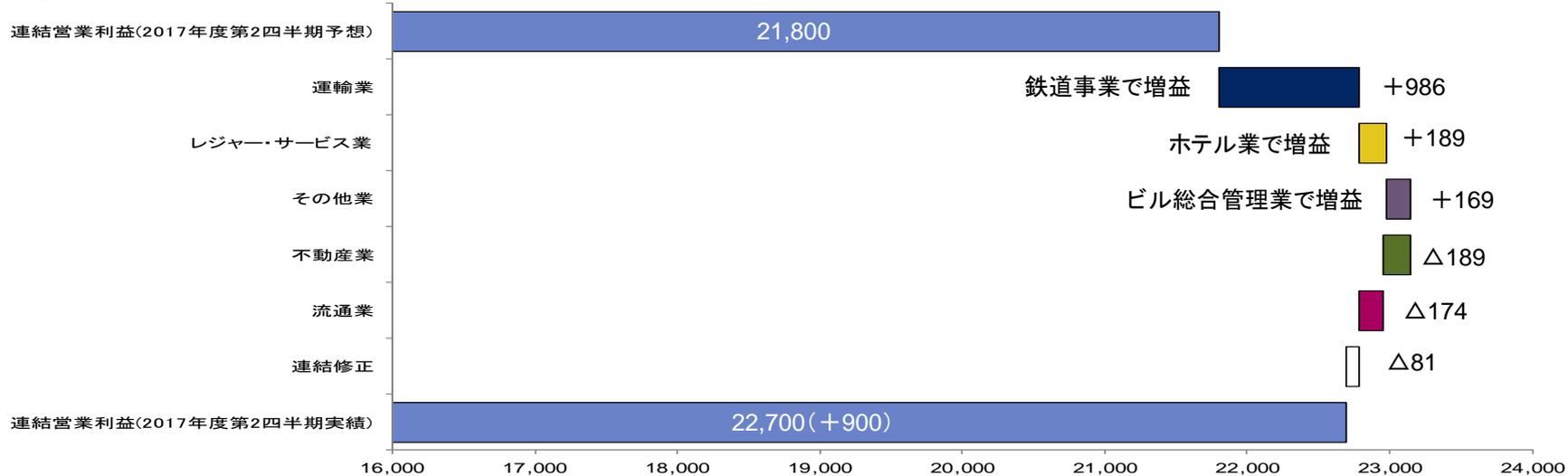
(単位：百万円)

1. 連結営業収益



2. 連結営業利益

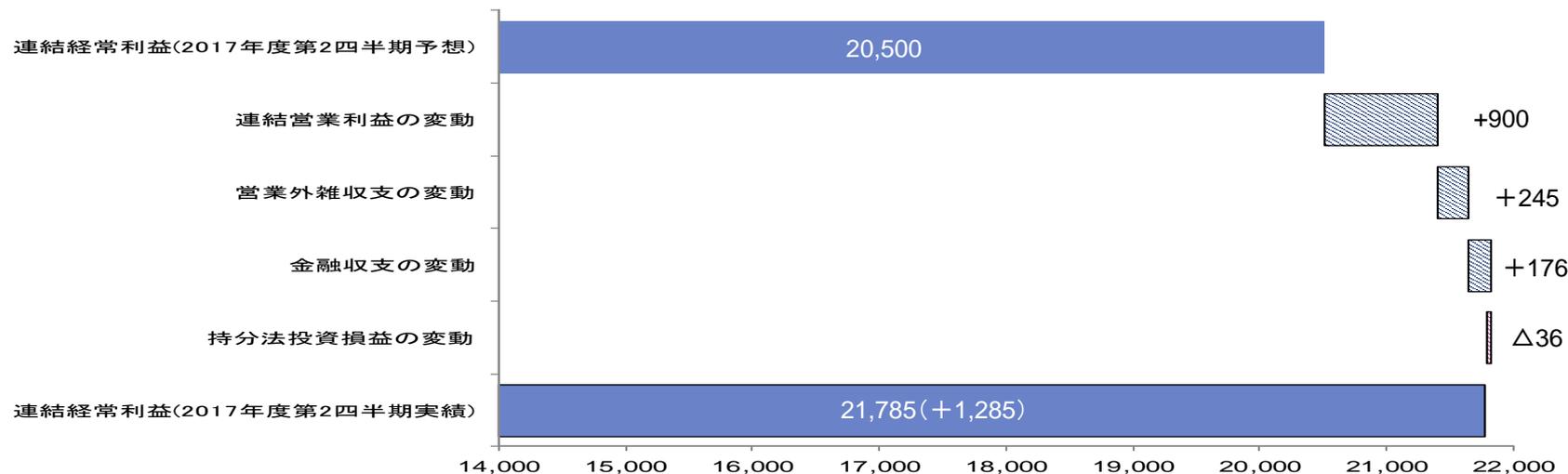
(単位：百万円)



1-5. 経常利益・四半期純利益の変動要因 (対予想〈4月28日公表ベース〉比較)

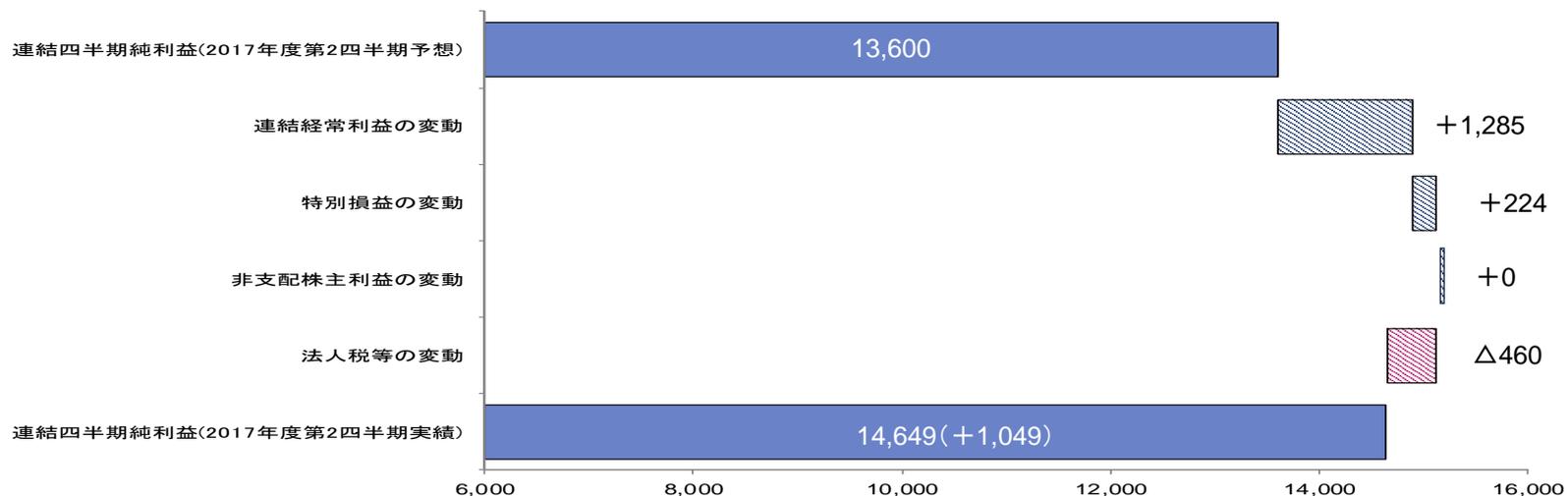
1. 連結経常利益

(単位：百万円)



2. 親会社株主に帰属する四半期純利益

(単位：百万円)



2. 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	2016年度 実績	2017年度 第2四半期 実績	増減	増減要因
総資産	834,682	866,179	31,497	手元資金の増加や 有形固定資産の増加など
負債	502,661	521,292	18,630	社債の発行(200億円)など
純資産	332,020	344,887	12,866	親会社株主に帰属する 四半期純利益の計上など
負債及び純資産	834,682	866,179	31,497	
有利子負債	328,584	348,559	19,975	

(注)有利子負債は、借入金+社債により算出している。

3.連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	2016年度 第2四半期実績	2017年度 第2四半期実績	増減	増減要因
営業活動 キャッシュ・フロー	29,318	32,812	3,493	
投資活動 キャッシュ・フロー	△ 32,912	△ 42,078	△ 9,166	
財務活動 キャッシュ・フロー	△ 17,503	16,875	34,378	社債の発行による増加など
現金及び 現金同等物の 期末残高	68,082	63,676	△ 4,405	

4.セグメント情報(構成状況)

連結会社

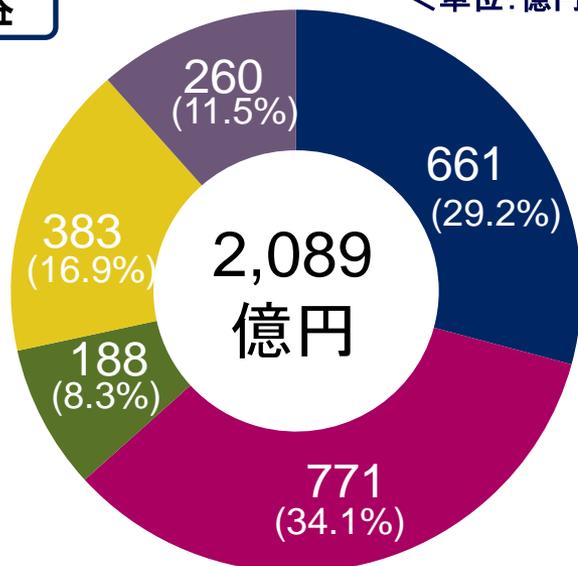
2017年9月末現在 48社 (京王電鉄、京王重機整備は複数の事業セグメントに重複)

運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他業
京王電鉄 京王電鉄バス 京王自動車 他 14社	京王百貨店 京王ストア 京王書籍販売 他 5社	京王電鉄 京王不動産 リビタ 他 3社	京王プラザホテル 京王観光 京王エージェンシー 他 5社	京王設備サービス 京王重機整備 京王建設 他 9社

2017年度第2四半期

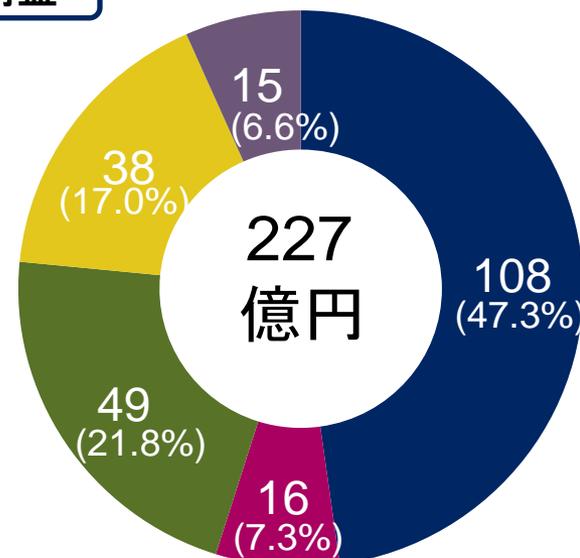
営業収益

<単位:億円>



営業利益

<単位:億円>



(注) セグメントの数値は、セグメント間取引を含む金額、構成比率である。

4.セグメント情報(運輸業①)

(単位：百万円、%)

	2016年度 第2四半期 実 績	2017年度 第2四半期 実 績	増 減 (増 減 率)	増 減 要 因	2017年度 第2四半期 予 想 (2017.4.28公表 ベ ー ス)	差 異 (差 異 率)
(鉄 道 事 業)	42,418	43,268	850 (2.0)	次ページ 参照	42,574	694 (1.6)
(バ ス 事 業)	17,868	18,116	247 (1.4)	路線、貸切 で増収	18,256	△ 140 (△ 0.8)
(タ ク シ ー 業)	6,569	6,377	△ 192 (△ 2.9)		6,555	△ 178 (△ 2.7)
(そ の 他)	1,290	1,282	△ 7 (△ 0.6)		1,237	45 (3.6)
(消 去)	△ 2,911	△ 2,877	33 —		△ 3,016	138 —
営 業 収 益	65,235	66,166	931 (1.4)		65,606	559 (0.9)
営 業 利 益	10,293	10,834	541 (5.3)		9,848	986 (10.0)
減 価 償 却 費	10,881	10,768	△ 112 (△ 1.0)			
資 本 的 支 出	3,944	8,588	4,643 (117.7)			
E B I T D A	21,174	21,603	428 (2.0)			

4.セグメント情報(運輸業②[鉄道事業運輸成績])

(単位：千人、百万円、%)

		2016年度 第2四半期実績	2017年度 第2四半期実績	増減 (増減率)	増減要因
輸 送 人 員	定 期	199,510	203,024	3,514 (1.8)	雇用情勢の改善など
	(通 勤)	148,862	152,336	3,474 (2.3)	
	(通 学)	50,648	50,688	40 (0.1)	
	定 期 外	134,761	136,822	2,061 (1.5)	沿線施設の来訪者増加など
	合 計	334,271	339,846	5,575 (1.7)	
旅 客 運 輸 収 入	定 期	17,774	18,152	377 (2.1)	
	(通 勤)	15,786	16,163	376 (2.4)	
	(通 学)	1,988	1,989	1 (0.1)	
	定 期 外	23,010	23,414	404 (1.8)	
	合 計	40,784	41,567	782 (1.9)	

参考：鉄道事業 輸送人員の対前年増減率（累計）

	2016年度 第2四半期	2016年度	2017年度 第2四半期
定 期	+ 1.7%	+ 1.8%	+ 1.8%
定 期 外	+ 0.6%	+ 0.5%	+ 1.5%
合 計	+ 1.3%	+ 1.2%	+ 1.7%

4.セグメント情報(流通業)

(単位：百万円、%)

	2016年度 第2四半期 実績	2017年度 第2四半期 実績	増減 (増減率)	増 要 減 因	2017年度 第2四半期 予想 (2017.4.28公表 ベース)	差異 (差異率)
(百貨店業)	39,566	41,647	2,080 (5.3)	インバウンド 売上の好調 など	41,155	492 (1.2)
(ストア業)	22,870	23,591	720 (3.2)	新店開業の 効果など	23,679	△ 88 (△ 0.4)
(書籍販売業)	3,524	3,207	△ 316 (△ 9.0)		3,237	△ 29 (△ 0.9)
(ショッピングセンター事業)	6,280	6,283	3 (0.1)		6,229	54 (0.9)
(その他)	5,593	5,594	1 (0.0)		5,686	△ 92 (△ 1.6)
(消去)	△3,158	△3,180	△ 21	—	△ 3,260	80
営業収益	74,676	77,143	2,466 (3.3)		76,727	416 (0.5)
営業利益	2,065	1,678	△ 386 (△ 18.7)		1,852	△ 174 (△ 9.4)
減価償却費	1,907	1,772	△ 134 (△ 7.1)			
資本的支出	2,628	9,592	6,963 (264.9)			
E B I T D A	3,972	3,451	△ 521 (△ 13.1)			

参考：ストア業 営業収益増減率 (対前年同期比)

スーパーマーケット業	+3.0%
(うち、既存店)	△0.3%
コンビニ・売店業	+2.2%

スーパーマーケット業は既存店が微減も、府中店(新店)や野崎店(改装)などが寄与し、増収の決算となった。

〔参考〕 主要各社の取り組み

〈調布駅周辺の開発〉

- 調布の新たなランドマークとして「**トリエ京王調布**」(商業施設)を2017年9月29日に開業



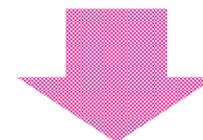
事業概要

出店店舗: **調布ゆかりの店舗**を含む
72店舗

延床面積: 約 **38,000㎡**

ターゲット: 「自然体でいながらも
ちょっとセンスアップした
生活に憧れる女性と
その女性に繋がる人々」

C館		B館		A館		
5F		5F		5F	カジュアルレストランフロア	
4F	シネマコンプレックス	4F		4F	ライフスタイルフロア	
3F	Ac AEON CINEMA THEATUS CHOFU	3F	家電量販店 ビックカメラ	3F	デイリーファッションフロア	
2F	駐 車 場	2F		2F	セレクトファッションフロア	
1F	カフェレストラン ・サイクルショップなど	1F	カフェ&バル	1F	調布駅 中央口	調布駅 東口
B1 F				改札 F	デイリー&クイックフロア	調布駅 改札



**来館者、売上ともに
好調な滑り出し**

〔参考〕 主要各社の取り組み

＜京王百貨店、京王ストアにおける収益拡大の取り組み＞

京王百貨店の客層・販路の拡大

＜客層の拡大施策＞

- 全館改装を進める新宿店では2017年9月、5階紳士服フロアにビジネスゾーンを中心に新規ブランドの導入や売り場再編を実施
- 4階婦人服フロアの自主編集売場には新コーナーを新設



4階自主編集売場の新コーナー
「ココチクローゼット」



着心地



衣心地



値心地

＜販路の拡大施策＞

- 2017年9月、サテライト店の「キラリナ京王吉祥寺店」と「トリエ京王調布店」をオープン



トリエ京王調布店

キラリナ京王吉祥寺店

- 開業日: 2017年9月1日
- 売場面積: 339㎡

トリエ京王調布店

- 開業日: 2017年9月29日
- 売場面積: 383㎡

京王ストアの店舗拡大

- 2017年7月に京王ストア府中店、9月には京王ストア多摩センター店と京王ストアエクスプレス調布店を新規開業
- 今後も京王沿線および周辺エリアを中心に新規出店の機会を模索し、さらなる事業拡大を目指す

京王ストア府中店

- 開業日: 2017年7月14日
- 売場面積: 約1,400㎡

京王ストアエクスプレス調布店

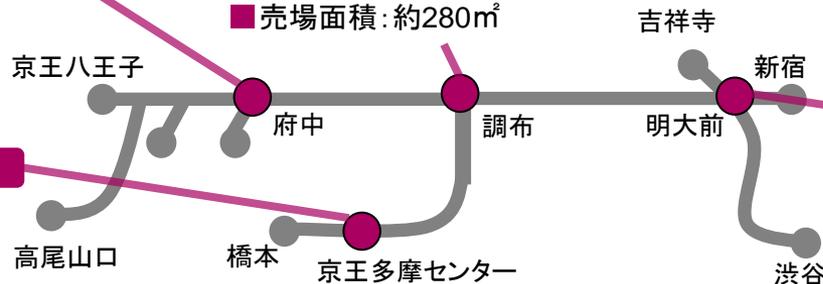
- 開業日: 2017年9月29日
- 売場面積: 約280㎡

京王ストア多摩センター店

- 開業日: 2017年9月1日
- 売場面積: 約860㎡

京王ストアエクスプレス明大前店

- 開業日: 2017年11月30日(予定)
- 売場面積: 約300㎡



4.セグメント情報(不動産業)

(単位：百万円、%)

	2016年度 第2四半期 実績	2017年度 第2四半期 実績	増減 (増減率)	増 要 減 因	2017年度 第2四半期 予想 (2017.4.28公表ベース)	差異 (差異率)
(不動産賃貸業)	16,759	17,260	501 (3.0)	賃貸物件の増 など	17,019	241 (1.4)
(不動産販売業)	5,268	4,896	△ 372 (△ 7.1)		7,524	△ 2,628 (△ 34.9)
(その他)	858	958	99 (11.6)		1,012	△ 54 (△ 5.4)
(消去)	△ 4,151	△ 4,293	△ 142 —		△ 4,123	△ 170 —
営業収益	18,735	18,821	86 (0.5)		21,433	△ 2,611 (△ 12.2)
営業利益	5,185	4,999	△ 186 (△ 3.6)		5,189	△ 189 (△ 3.7)
減価償却費	2,237	2,215	△ 21 (△ 1.0)			
資本的支出	603	2,552	1,949 (323.2)			
E B I T D A	7,625	7,417	△ 208 (△ 2.7)			

〔参考〕 主要各社の取り組み

＜リビタにおけるリノベーション事業の拡大＞

- **THE SHARE HOTELS** (シェア型複合ホテル) を
2017年5月、函館に**3号店**、8月には金沢に**4号店を開業**
- 今後も地方の中核都市を中心に積極的な事業展開を計画。2020年までに**10店舗体制**を目指す

3号店「HakoBA (ハコバ) 函館」 (2017年5月開業)



所在地	北海道函館市
建物規模	BANK 地上3階、 DOCK 地上4階
客室数	ドミトリータイプ 32ベッド、 個室タイプ34室
収容人数	116名

4号店「KUMU (クム) 金沢」 (2017年8月開業)

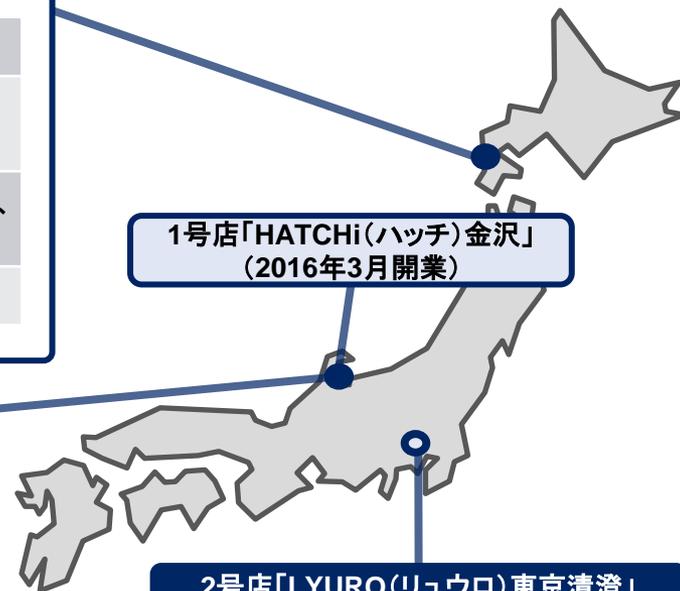


所在地	石川県金沢市
建物規模	地上8階
客室数	個室タイプ47室
収容人数	188名

1号店「HATCHi (ハッチ) 金沢」 (2016年3月開業)

2号店「LYURO (リュウロ) 東京清澄」 (2017年3月開業)

所在地	東京都江東区
建物規模	地上6階
収容人数	102名



4.セグメント情報(レジャー・サービス業)

(単位：百万円、%)

	2016年度 第2四半期 実績	2017年度 第2四半期 実績	増減(増減率)	増減要因	2017年度 第2四半期 予想 (2017.4.28公表ベース)	差異(差異率)
(ホテル業)	24,160	24,416	256 (1.1)	京王プレッソインの 新店開業効果など	24,356	59 (0.2)
(旅行業)	9,807	9,898	91 (0.9)		10,531	△ 632 (△ 6.0)
(広告代理業)	5,710	5,271	△ 439 (△ 7.7)	前期における大型 案件受注の反動減 など	5,342	△ 71 (△ 1.3)
(その他)	3,416	3,476	59 (1.7)		3,492	△ 15 (△ 0.5)
(消去)	△ 4,744	△ 4,716	27 -		△ 4,792	75 -
営業収益	38,350	38,346	△ 3 (△ 0.0)		38,930	△ 584 (△ 1.5)
営業利益	4,124	3,891	△ 232 (△ 5.6)		3,701	189 (5.1)
減価償却費	1,828	1,895	67 (3.7)			
資本的支出	11,586	3,409	△ 8,177 (△ 70.6)			
E B I T D A	5,952	5,787	△ 165 (△ 2.8)			

〔参考〕 主要各社の取り組み

＜京王プレッソインの展開＞

■ 2017年8月東京駅八重洲に開業、2017年12月には浜松町に開業予定

既存店舗



2016年度末
9店舗／約2,200室

京王プレッソイン東京駅八重洲



- 開業日: 2017年8月28日
- 地上13階建て
- 客室数: 248室

京王プレッソイン浜松町

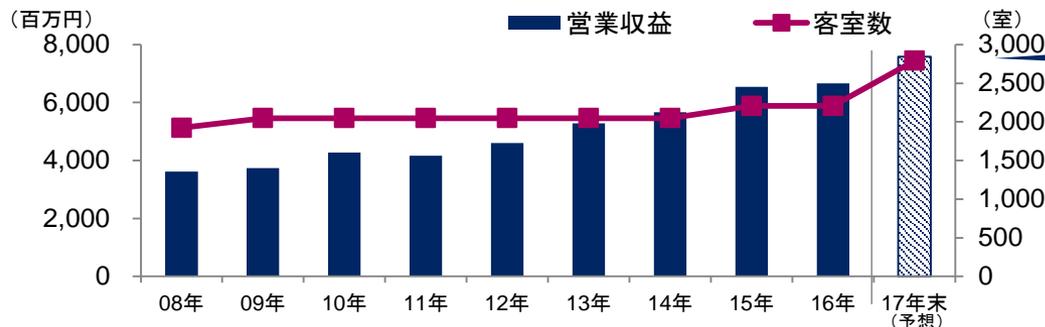


- 開業日: 2017年12月20日 (予定)
- 地上14階建て
- 客室数: 339室

+ 2店舗開業

2017年度末 11店舗／約2,800室

〔参考〕 京王プレッソイン全店 営業収益・客室数の推移



営業収益は順調に推移

今後も徹底した稼働重視施策などメリハリをつけた料金コントロールを徹底し、収益力の維持・向上を図る

4.セグメント情報(その他業)

(単位：百万円、%)

	2016年度 第2四半期 実績	2017年度 第2四半期 実績	増減(増減率)	増減 要因	2017年度 第2四半期 予想 (2017.4.28公表 ベース)	差異(差異率)
(ビル総合管理業)	9,814	10,937	1,123 (11.4)	完成工事 高の増加 など	10,198	739 (7.2)
(車両整備業)	3,605	4,261	655 (18.2)		4,053	208 (5.1)
(建築・土木業)	5,575	8,290	2,714 (48.7)	完成工事 高の増加 など	9,836	△ 1,545 (△ 15.7)
(その他)	3,435	3,663	228 (6.7)		3,759	△ 95 (△ 2.5)
(消去)	△ 985	△ 1,150	△ 164 —		△ 1,225	75 —
営業収益	21,445	26,002	4,557 (21.3)		26,621	△ 618 (△ 2.3)
営業利益	726	1,503	776 (106.9)		1,334	169 (12.7)
減価償却費	134	163	28 (21.3)			
資本的支出	29	314	284 (963.4)			
E B I T D A	861	1,666	805 (93.5)			

Ⅱ. 2017年度通期の業績予想

業績予想の修正は行っておりません

[参考]連結損益計算書(2017年4月28日公表数値)

〔参考〕連結損益計算書(2017年4月28日公表数値)

(単位：億円、%)

	2016年度 実績	2017年度 予想	増減 (増減率)
連結営業収益	4,189	4,342	152 (3.6)
連結営業利益	379	389	9 (2.4)
連結経常利益	352	367	14 (4.0)
親会社株主に帰属する 当期純利益	211	230	18 (8.7)
連結EBITDA	730	748	18 (2.5)
連結減価償却費	346	355	8 (2.4)
資本的支出	617	845	227 (36.9)

(注) EBITDAは、営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額により算出している。

Ⅲ. 2020年度に向けた取り組みの進捗

1. 現行中期経営計画の投資案件スケジュール
2. 2020年度に向けた各施策
 - (1) 安全性・収益力の向上
 - ① 座席指定列車の導入
 - ② 安全対策等の取り組み
 - (2) 事業の拡大
 - ① ホテル・インバウンド関連ビジネスの全体像
 - ② 新業態ホテルの展開
 - (3) 沿線価値の向上
 - 多摩動物公園エリア魅力向上への取り組み

1. 現行中期経営計画の投資案件スケジュール

	2015年度	2016年度	2017年度	～
(1) 安全性・収益力の向上				
笹塚駅～仙川駅間連続立体交差事業		用地取得および設計	業務	
ダイヤ改正	2015年9月 京王線・井の頭線	2016年9月 京王線・井の頭線	2018年春予定	
座席指定列車の導入	導入決定	新型車両の設計・製造	運行開始 2018年春予定	
(2) 事業の拡大				
ホテル事業の拡大	<新業態ホテル> <京王プレッソイン> 赤坂店 2015年7月開業		京王プレミアホテル京都烏丸五条(仮称) 2018年秋開業予定 東京駅八重洲店 2017年8月開業 京王プレミアホテル札幌(仮称) 浜松町店 2019年夏開業予定 2017年12月開業予定	
リノベーション事業の拡大	シェア型複合ホテル1号店 2016年3月開業(金沢) 民泊事業者株式取得	シェア型複合ホテル2号店 2017年3月開業(東京清澄) 2017年2月 民泊マンション開業	シェア型複合ホテル 3,4号店開業(5月 函館、8月 金沢)	シェアコミュニティ 市場等の拡大
インバウンドビジネスの拡大		新たな広域観光ルートづくり 新たなフリーきっぷの造成 新宿における拠点整備		インバウンドビジネスの検討・実施の継続
海外関連事業の拡大	台湾茶カフェ1号店開業 中国カレーレストラン1号店開業	台湾茶カフェ・中国カレーレストラン	の多店舗展開	海外関連事業の検討・実施の継続
(3) 沿線拠点の活性化				
調布駅周辺の開発		2016年4月着工	2017年9月「トリエ 京王調布」開業	
新宿などの沿線拠点活性化				将来に向けた検討の継続
(4) 沿線価値の向上				
生活支援サービスの多面的展開	<子育て支援事業> 子育て支援賃貸マンション 2016年3月完成	介護付有料老人ホーム 2016年5月開業	サービス付き高齢者向け住宅 2017年2月開業	新規保育施設等の検討 シニア向け事業の検討・実施の継続
多摩動物公園エリア魅力向上への取り組み		京王メモリアル調布 2016年6月開業	京王メモリアル多摩センター 2017年6月開業	子供向け屋内型遊戯施設の建設 2018年春開業予定

2. 2020年度に向けた各施策

(1) 安全性・収益力の向上

① 座席指定列車の導入

- 2017年9月 通常列車として新型5000系の営業運転開始
- 2018年春 座席指定列車として運行開始予定

➡ **利便性**および**収益力**の向上



電源コンセントや無料公衆無線LAN、空気清浄機など、当社初となる装備も多数搭載

《2018年3月 相模原線加算運賃の引下げを実施予定》

- 相模原線建設事業費の回収を目的に、京王多摩川～橋本間の乗車キロに応じた加算運賃を設定している
- 加算運賃収入等による相模原線建設事業費の回収が進捗してきていることから、2018年3月に加算運賃の引下げを実施する

※加算運賃の終了時期は、建設事業費に対する加算運賃収入等の割合が100%に達するまでと定められている。(2016年度末時点では90.6%)

《相模原線 加算運賃改定額》(大人・定期は1か月の場合)

普通	△20円 (現行10円の区間は△10円)
通勤定期	△750円 (現行380円の区間は△380円)
通学定期	△370円 (現行160円の区間は△160円)

[参考] 新宿・渋谷から主要駅までの普通運賃 (大人・ICカード) [単位:円]



2. 2020年度に向けた各施策

(1) 安全性・収益力の向上

② 安全対策等の取り組み

<ホーム安全対策の推進>

- ホームドアについて、2018年度の使用開始に向けて、新線新宿駅や渋谷駅でホームの改修工事に着手
飛田給駅においても、2018～2019年度にかけてホームドア整備を実施

- ホームドア設置と並行して、転落防止固定柵の整備を推進
2017年度上期には、京王八王子駅と井の頭線明大前駅に整備したほか、年度内には千歳烏山駅の整備を予定



転落防止固定柵設置例(京王八王子駅)

<耐震補強の推進>

- 高架橋や盛土区間などの耐震補強工事により、鉄道施設の耐震性向上を推進



耐震補強後の盛土区間



耐震補強後の高架橋

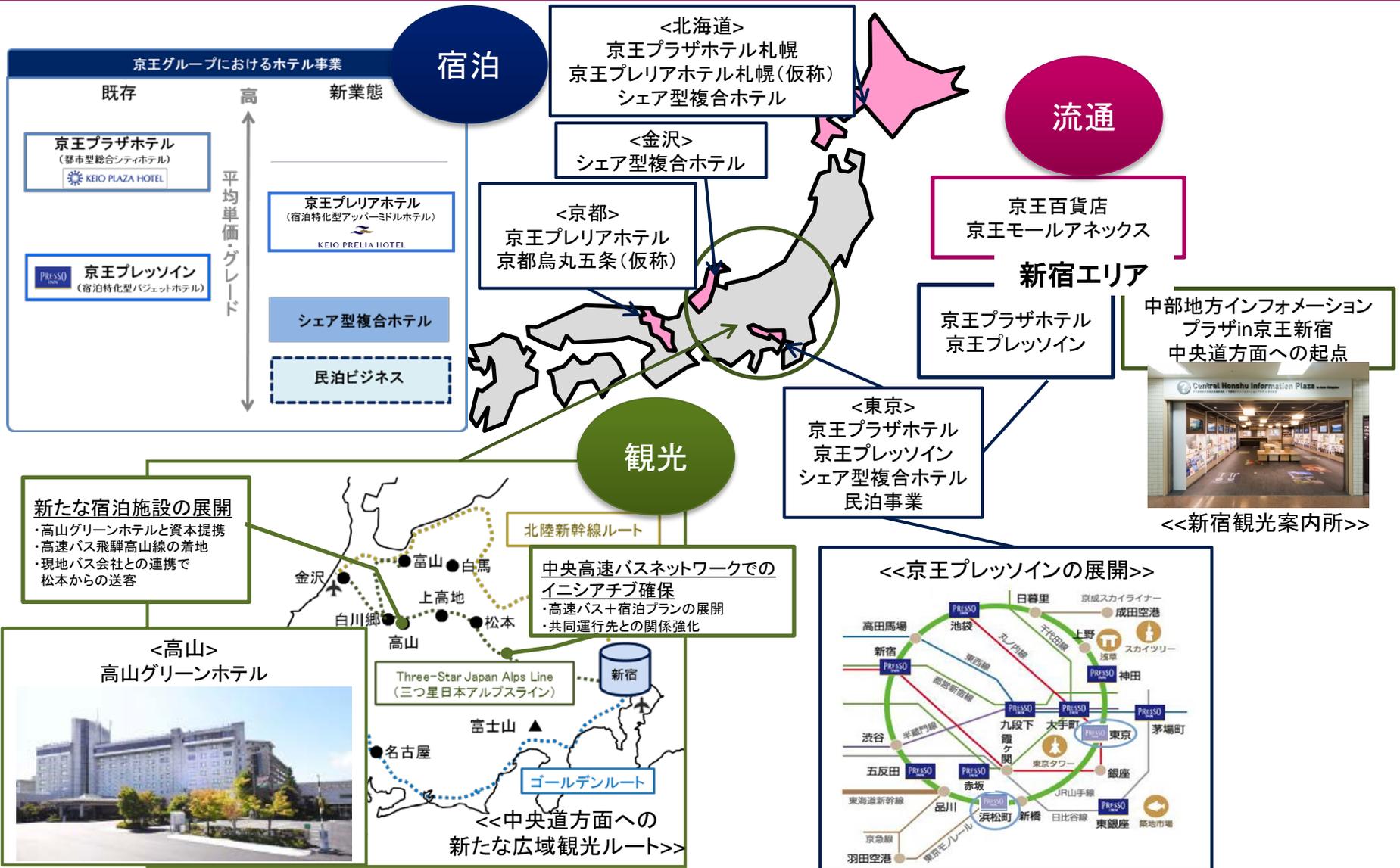
<駅リニューアルの実施>

- 府中駅において、駅直結のショッピングセンターのリニューアル工事や駅南側の再開発事業にあわせて、コンコースなどの改修を実施したほか、京王よみうりランド駅においてもお客様の利便性向上を目指し、リニューアル工事を進めている

2. 2020年度に向けた各施策

(2) 事業の拡大

① ホテル・インバウンド関連ビジネスの全体像



2. 2020年度に向けた各施策

(2) 事業の拡大

② 新業態ホテルの展開

■ 引き続き新業態ホテルの展開など成長の見込めるホテル事業を強化・推進

京王プレミアホテルの展開

京王プレミアホテル京都烏丸五条(仮称)

開業時期:2018年秋(予定)
 客室数:305室(予定)
 付帯施設:レストラン、大浴場等
 運営会社:
 (株)京王プレミアホテル京都
 総事業費:128億円



外観(イメージ)

京王プレミアホテル札幌(仮称)

開業時期:2019年夏(予定)
 客室数:359室(予定)
 付帯施設:レストラン、大浴場等
 運営会社:
 (株)京王プラザホテル札幌
 総事業費:103億円



外観(イメージ)

今後も宿泊需要が高い大都市・観光都市での展開を検討

ミャンマーにおけるホテル・サービスアパートメントの展開

■ ミャンマーに合弁会社を設立し、ホテル・サービスアパートメント事業に進出

- ・さらなる経済発展が予測されるミャンマーにおいて、都市型ホテルおよび高級サービスアパートメントの需要拡大が見込まれる
- ・当社グループが日本国内で蓄積した事業ノウハウを活用することにより、事業領域の拡大等を図る

事業概要(予定)

資本金:1億6,285万ドル
 出資比率:65%
 事業内容:都市型シティホテル・
 高級サービスアパートメント事業
 施設概要:合計400室規模の客室レストラン、プール等

2. 2020年度に向けた各施策

(3) 沿線価値の向上

多摩動物公園エリア魅力向上への取り組み

- 2018年春 多摩動物園駅前に全天候型遊戯施設「京王あそびの森 HUGHUG(ハグハグ)」を開業
- 多摩動物公園や京王れーるランドと連携し、多摩動物公園エリアのさらなる魅力向上・活性化を図る



京王あそびの森

HUGHUG
ハグハグ



施設概要

ターゲット: 0~12歳のお子様とその保護者

施設内容: 「木育」「体育」「知育」の3つのテーマを同時に楽しめる国内有数のお子様向け全天候型の大型遊戯施設

日本最大級のネット遊具や屋内ミニSLなど、全7種類のコンテンツのほか、カフェレストランを備える

集客見込: 年間約25万人

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。